

## 地域住民による

### 地域づくりを学ぼう

#### 〜まちづくり先進地視察〜

まちづくり地区会議から視察の提案を受け、左記の日程で南部町の3か所の視察を行いました。

南部町では平成19年から、町内7地区で、地域振興協議会が設立されています。発足から約6年が経過し、地区ごとに特色ある取り組みをされており、このたびは3地区の視察を行いました。

**目的** 地域づくりに取り組む住民組織の研究のため。

**視察日** 10月22日(火)

**参加者** 7地区のまちづくり委員と

役場職員計26名



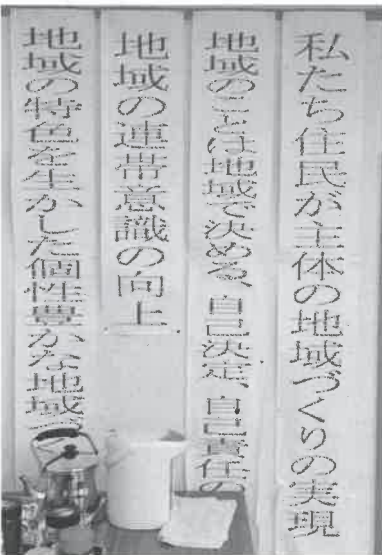
▶説明を熱心に聞く参加者

#### ①南さいはく地域振興協議会

南さいはくは「少子高齢化が進むと、集落を単位とした行事などがこの先できなくなる。協力・連携体制を今のうちから準備しておこう」という動機で設立されました。

会長からは、「組織設立は、1年任期の区長が変わる前につくってしまおうべき。あるいは、区長に代わる継続した役員をつくり設立する方法もある。区長制度より自治組織のほうが皆の知恵や力を集められると思う。組織立ち上げを頑張ってほしい」と、励ましの言葉がまちづくり委員の皆さんへ贈られました。

運営費は町からの一括交付金のほか、草刈りの委託、町有施設の指定管理などです。地域のことは地域で取り組み、利益を得る流れを構築中とのことでした。「公民館から地域振興協議会となったことで、まちづくり活動にさまざまな角度から取り組めるようになった。今後は、地域の人にもっと仲間になってもらい、いずれは補助金に頼らない形を目指したい」と説明されました。



▲南さいはく地域振興協議会の基本方針

#### ②あいみ富有の里地域振興協議会

「地域振興協議会は、地域課題に対して活動できる組織」という認識を持ち、まちづくりに取り組まれています。青パトの運行などを率先して行った結果、子どもたちの見守りや農作物の監視に対して効果が出ているそうです。

各集落で夢を語り、全集落が「まちづくり計画書」を作成。全世帯に配布して地域全体で思いを共有する取り組みが行われました。会長は「地域課題に対して、解決する仕組みが、地域振興協議会でできたと思う」と話されました。月1回の広報紙も作成し、周知に努めておられますが、参加意識を高めることが課題だそうです。

#### ③東西町地域振興協議会

旧小学校区ではなく、昭和44年ごろから開発が始められた団地で形成された組織です。夏祭り、運動会といったコミュニティ活動を大事にしながら「安心・安全のまちづくり」につなげ、住民を巻き込んで活動されています。「地域振興協議会ができたことで、地域の課題について深く考えることができた」と話され、防災訓練と支え合いの取り組みは、地域力の高まりを感じるものでした。そのほか、泥棒対策やパトロールなど、住民のメリットになることを自分たちで行う、完成度の高い形ができていくことに驚きました。

#### まちづくり御来屋地区会議

##### 「救急医療情報キット」



まちづくり御来屋地区会議では、救命作業を迅速に行うために、また、安全安心を確保することを目的として、救急医療情報キットが配られました。御来屋地区の各自治会がキット代金の半額を負担しました。

このキットは、世帯の医療情報・保険証などを入れ、誰でもわかる場所に置きます。独居世帯や、昼間に家族が誰もいない場合の方が一に備えるものです。キットにある医療情報を基に緊急時には、適切に対応することができそうです。救急医療情報キットは、一人でも多くの命が救えるように、まちづくり御来屋地区会議の「安全安心なまちづくり部会」で話し合って実行されました。